新人戦が近づいて来ました。玉中１・２年生の底力を見せていきましょう！

玉造中だより
楽し学舎（まなびや）
No. 21
R2・9・28

部分的に授業の中にグループでの活動を取り入れていきます！

新しい学校生活様式withコロナ

昨年のグループ活動の様子

新型コロナウィルス感染拡大に伴い、今年度は前・後期の二期制になり先週は前期末テストも行われました。本校では二年前からグループによる活動を授業だけでなく、様々な教育活動の中に取り入れてきました。その活動を通して、人間関係づくりや自分たちで課題を解決する力を身に付けさせ、「自分で考え、自分で判断し、行動できる力」を育成していきたいと考えています。ところが、今年度、新型コロナウィルス感染拡大に伴い、「三密」を避けるために授業におけるグループ活動はほとんど行っておりませんでした。

今回、本県のコロナウィルス対策ステージが３から２に緩和されてから一か月が経過したことを受け、これまで継続して成果を上げてきたグループによる活動を部分的に実施していきます。もちろん、授業中のマスクの着用、手洗い等の感染症対策を行い、グループでの活動も短時間に制限し行っていきます。

一年生にとっては中学入学後初めてのことなので戸惑うこともあるかと思います。この活動を通して、教え合ったり、一人ではできないけれど何人かで取り組めばできることを実感できればと思います。

頑張れ！玉中駅伝チーム

前号でもお知らせしたように、先週から本校の駅伝チームが正式に練習をスタートさせました。今年は新型コロナウイルスの影響で、駅伝大会の開催が危ぶまれていましたが、十月二十一日（水）に県東地区駅伝大会の開催が決定し、それに向けて練習にも熱が入る中、参加している三年生二人に話しを聞いてみました。

三年三組　○○　○○くん
「練習はまだあまりしていませんが、とても活気があるチームで、練習の時から声を出し合っています。男子のメンバー全員が一つになっていて、とてもたのもしい感じがします。目標は去年の成績（二十二位）を上回ることです。みなさんの応援に応えられるよう頑張ります。」

三年三組　○○　○○さん
「女子のチームもとても良い雰囲気で練習に取り組んでいます。一人一人のメンバーが、自分の力を練習の時から最大限に出そうと努力しています。昨年の女子の成績は十五位でしたが、今年は昨年の成績を上回り、できれば県大会にも出場できるよう頑張ります。応援よろしくお願い致します。」

今年のチームは昨年以上に元気があり、期待ができそうです。私たちの代表である駅伝メンバーを、全校で応援していきましょう。

頑張って下さい！教育実習生三十日まで

○○先生の道徳の授業の様子

八日から始まった教育実習が三十日で終了します。十五日間という短い期間でしたが、二人とも充実した日々を過ごしたようです。二週目からは実際に授業をするようになり、生徒たちに「教える」ことの難しさも経験したようです。また、中学生という難しい時期にある生徒と接することで多くのことを学んだということでした。

○○先生の道徳の授業

○○先生はこの後もう一年大学に戻って勉強と部活動に励み、これからの自分の進路を考えていくそうです。また、○○先生は、来年からはどこかの学校で社会科を教える予定です。

二人とも将来は母校に戻って教壇に立ってくれることを期待しています。お世話になりました。

大雨の中自転車登校七十人！

二十四日は台風十二号接近に伴い臨時休校になりました。翌日の二十五日も前日以上に雨風が強く、厳しい条件の中にもかかわらず、自転車で登校してきた生徒が七十名いました。通勤途中で、何人かの生徒とすれ違いましたが、雨風が強くて、雨ガッパを着て、必死の表情で自転車をこぐ姿を見てとても感動しました。車の中から思わず「頑張れよ！」と声をかけてしまいました。

本校の教育目標である「自立貢献」の「自立」。「自分のことは自分でやる」。厳しい条件の中でも、すぐに誰かを頼るのではなく、できる限り自分の力で乗り越えていくたくましさ。これからのみなさんには必要とされることです。ただし、荒天の場合は、十分に交通事故には気を付けて下さい。

編集後記

「迷ったらやってみる」

茨城県の大井川知事が任期三年を振り返ってのインタビュー記事が新聞に掲載されていたのでちょっと読んでみた。その中に興味深いコメントがあった。

「この三年間で様々な場面で知事としての判断が求められた。しかし、いつも判断の基準としたことは、迷ったらとにかくやってみる、何もしないでいることは後退だ、ということを意識していた。」

ということだった。確かに、様々な場面で自分で判断することが求められる。何もやらないでいること、あるいは今まで通りにやること先も見えるし、今までの経験、そしてやることも分かっているので楽だ。

新しいことに挑戦することは、これまでにやったことがないので最初からつくっていかなくてはいけないし、どうなるのか予想もつかない。

その話を聞いて今年の体育祭が目に浮かんだ。新型コロナウィルスのために様々な制限があった中で、これまでと同じようにやることもできたものもあった。しかし、本校の生徒や先生たちは、種目等でこれまでにない様々な工夫をしてくれた。やってみないとどうなるか分からない不安の中で、とにかくやってみたことで、来年以降の体育祭に向けて見えてきたことがたくさんあった。これはとにかく前を向いてやってみたから分かったことだ。

最後に知事はこんなことも言っていた。

「コロナのために失われた一年になってはいけない」

決してこの一年を無駄にはしない。

（文責：小野口　吉政）